

Autumn is the best season for Sports and Reading.

校長 濱野 正義

40年以上も前のこと。中学1年の時、兼部していた水泳部でリレーのメンバーとして県大会に出場し、入賞できたことで、九州大会に参加する機会を得ました。参加選手たちは、その大会の1週間前から会場(当時は熊本)に集まり、全国に向けての強化合宿をするというような時代でした。集まった選手たちは、一流選手ばかりで、私は、全国レベルの選手たちと一緒に練習ができることに有頂天になっていました。

しかし、そういう選手たちへの憧れの気持ちは2~3日過ぎると色あせ、彼らの悪いところが少しずつ見え始め、軽蔑への気持ちへと変わっていききました。彼らは、練習後のプールサイドの後片付けなど一切することなく、周りがやっても知らんぷりでした。仲間への挨拶もろくにしませんでした。「強い選手=えらい人間」だと勘違いしているのが彼らのすべての言動にあらわれていました。

世界で活躍する一流選手をテレビ等で見ていて思うのは、彼らの多くは、人としてのマナーをきちんと身につけているということです。いやむしろ、人としてのマナーが身につけているから、一流になれたのではないかとも思えます。

このことは、何もプロの世界だけのことではないはずです。西高生もスポーツを通して、仲間とともに汗を流して努力することのすばらしさや礼儀を学んでいるはずです。顧問の先生は、君たちに技術だけを教えているわけではありません。君たちが卒業したあと、一生役に立つマナーを教えているはずです。

私は西高生に、「この人なら、この先輩なら心から応援したい」と同級生や下級生から思われる人間になってほしいと願っています。

次に読書についてです。世の中にはあふれるほどの本があります。Google社の推定では、2020年の時点で、雑誌を除いて約1億3千万の本があるということです。しかし、本を読む人の数は近年激減しています。

君たちのおじいさん・おばあさん、あるいはひいおじいさん・ひいおばあさんが子どもの頃はどうかだったのでしょうか。何かを学ぶためには、親が子に口頭で伝承する以外には、書物しかなかったのです。人々は先を争って本を読んでいたのだそうです。良い本にめぐり合うことが理想の人生だとも考えられていたそうです。

生徒のみなさん、良い本に出会っていますか。まだだという人は、すぐにも図書館に行って、一冊の本を手にとってみましょう。読書の途中でつまらなくなることは誰しもが経験することです。そんな時は、少し休憩して再び読み始めるか、あるいは思い切って別の本を読むようにしてみましょう。

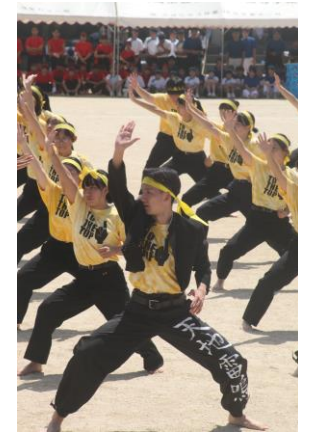
そして、忘れてほしくないことは、先生方も本と同じように君たちにとって大切な存在だということです。まだ良い先生に出会ってないという人は、まず西高で今習っている先生方をよく見て、その先生の話をよく聞くことです。素直な心で先生方と接すれば、本以上のものが得られるはずです。君たちにとって、人生に大きな影響を与える本や先生は案外身近なところにあるものです。

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋、実りの秋。西高生、いろんなことに挑戦せよ!

体育大会

今年度の体育大会は午前・午後の二部構成で実施しました。開催直前の台風接近による悪天候の心配もありましたが、当日は絶好の体育大会日和となりました。保護者と一般の皆様にも来場して頂き、生徒たちの一生懸命な姿をお見せすることができました。

【結果】 (総合の部) 優勝 黄ブロック(3-1, 3-2, 2-5, 2-6, 1-1, 1-4)
(応援の部) 優秀賞 黄ブロック(3-1・3-2)
(クラス対抗リレー)
1年 1位 男子2組 女子6組
2年 1位 男子6組 女子6組
3年 1位 男子2組 女子1組



《10月の主な行事予定》

9/28	木	前期期末考査(～10/3)
10/5	木	大学入学共通テスト100日前集会(3年)
6	金	前期終了日
7	土	秋季休業日(～10日)
11	水	後期始業式 後期各種委員任命式 受納式
17	火	長崎大学講義体験(1年)
26	木	芸術鑑賞会



西高祭

「西高祭の開幕です!!」生徒の元気な声とともに、9月9日(土)10日(日)西高祭が開催されました。コロナ禍が終息しつつあるとは言え、予断を許さない状況の中、限られた時間の中でクラス・部活・生徒会執行部のそれぞれが懸命に準備を行い、当日を迎えることができました。

オープニングは、校長先生と職員による合唱「浪漫飛行」。3年生が掲げるペンライトの光の中で熱唱される校長先生と先生方。コロナを吹き飛ばすかのようなパワーを感じるステージでした。続いてオープニングムービーは美術部2年関東君制作の「煌華」。文字と3DCGを取り入れた最新の映像は圧巻でした。そして4つの部活動の力を結集した文化部コラボレーション。西高太鼓の連打、吹奏楽部の演奏に合わせた美術部の描写、書道部の揮毫と、6分間に凝縮された芸術の集大成。また有志グループによる切れのある素晴らしいダンスパフォーマンスも見逃せません。佐世保西高の文化力の高さを感じるそれぞれのパフォーマンスは、運動部とはまた違った力強さを感じるとともに質の高さ、芸術性などまだまだ伸びる要素を秘めていると思われます。

また、今年は3Fコモンスペースもステージとして活用し、様々な出演者(ダンス、コーラス、吹奏楽部、書道部、放送部など)が花を添えました。その中でも「西高生の主張」は生徒会企画第2弾として「西高生クイズ」同様、盛り上がりを見せてくれました。

今年は外部からの来校者も多く、各クラスが趣向を凝らした展示、動画、劇、イベントなどの様々な催し物に、生徒や外部の方々楽しく参加する姿が印象的でした。

来年もコロナが終息し、思い切り笑って歌って楽しめる西高祭ができるように願うばかりです。

● クラス・文化部参加部門

GOLD WEST 賞 2年2組 劇「ラプンツェル」
SILVER WEST 賞 2年5組 映像「No dance No life」
特別賞 有志ダンス

● ポスター部門

最優秀賞 2年6組
優秀賞(2団体) 1年2組
2年4組



佐世保西高等学校 第2回オープンスクール

9月10日(日)に、本校の「第2回オープンスクール」が西高祭の2日目に併せて開催されました。今回は先着100名限定のオープンスクールとなりましたが、地区内外あわせて23の中学校から応募が殺到し、1週間で定員が埋まってしまいました。

当日は中学生75名、保護者27名の計102名の方々にご来校いただき、学校説明会終了後は久々に入場制限のない西高祭をお楽しみいただきました。

参加者アンケートでは「文化祭とオープンスクールが同日に行われたおかげで、生き生きしている西高生を目の当たりにでき、親も子も西高に行きたい!という気持ちが高まりました。」「頑張る時は頑張る、楽しむ時は楽しむといったメリハリのついた学校なのだろうなと思いました。」など、ご満足いただけた声が得られました。(教務部)

主な試合などの結果

<陸上部>○第78回九州陸上競技選手権大会兼第108回日本陸上競技選手権大会予選

男子ジュニア100m 第3位 3年 中川穂泉

○特別国民体育大会 長崎県選手証 3年 中川穂泉、1年 井手秀悟

○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会陸上競技

男子100m 第2位 1年 井手秀悟(九州大会出場)

男子4×100mR 第3位 1年 岩切裕哉、井手秀悟、大庭遙、山野泰知(九州大会出場)

<女子ソフトテニス部>

○令和5年度佐世保地区高等学校新人体育大会ソフトテニス競技

準優勝 2年 山口 姫奈・1年 末永 七海ペア

<弓道部> ○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会弓道競技

男子団体:第4位(九州大会出場)

<ソフトボール>○令和5年度長崎県高等学校新人体育大会ソフトボール競技 第2位(九州大会出場)

<男子バドミントン部> KTN杯第32回長崎県高等学校選抜バドミントン選手権大会

高校の部 男子シングルス 第3位 2年 吉田旺世

<コーラス部>第37回ながさき若い芽コンサートオーデション 声楽部門 優良賞 2年 川崎和奏

<美術部>

○第68回長崎県美術展

県美術協会賞 2年 福田芽生、 KTNテレビ長崎賞 3年 中里遙人

入選 3年3組 島内夢帆、2年三木彩音

<書道部>

令和5年度第57回弘法大師奉賛 高野山競書大会

特別賞 協会賞 2年 平野安紗美、 特選 3年 今里美李、2年 松尾奈保子

準特選 2年 角田亜矢、山崎瑠奈

令和5年度第22回長崎県高等学校総合文化祭【揮毫大会】

優秀賞 2年 平野安紗美(九州大会推薦)、2年 角田亜矢、松尾奈保子、吉田千夏